

学校教育目標 主体的に行動できる児童の育成

学校経営理念 教職員、児童、保護者、地域が目的を共有し、協働的に創り上げる学校文化

目指す学校の姿

- ①「知りたい・やってみたい・伝えたい」があふれる学校
- ②安心・安全な学校
- ③教職員・児童・保護者・地域がつながり、厚い信頼関係のある学校

目指す教職員の姿

- ①共に学び続け、高まり合う教職員
- ②児童に寄り添いながら育てる教職員
- ③自己の使命を自覚し、協働的に学校を創る教職員

目指す児童の姿

「自ら考え判断し
意欲的に行動できる児童」

育てる資質・能力

- ①探究する力
- ②相手の思いや考えを聴く力
- ③自分の思いや考えを伝える力
- ④振り返り、チャレンジする力

学 校

生徒指導部

- ・児童会活動の推進
- ・あいさつ運動の推進と無言掃除の徹底
- ・「思いやりの心」の育成

教務部

- ・個々の興味関心に応じた学びの機会の充実
- ・トークタイムによる聴く力と伝える力の育成

保健安全部

- ・なわとび運動を通じた体力づくりの推進
- ・生活習慣（メディア・就寝時間）の確立と食育の充実

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）

保護者・地域・小中学校・高校の協働による児童の育成

ふるさと教育

【熊野町の方針】 学ぶ力と豊かな心の実現

【広島県の方針】 広島で学んでよかったと思える日本一の教育県の実現

《研究主題》

学校や学級をよりよくするために主体的に行動できる児童の育成

～学級活動（１）における、課題を見付け、解決していく学級会の授業づくりを通して～